

～インタビューシートを書くにあたって～

群馬県公立高校を受検する人は、12月10日にインタビューシートの作成を始めます。インタビューシートは、高校の先生が面接をする際に使用するものです。ですから、まるまる他人に考えてもらったり、嘘をついたりすると、面接の際につじつまが合わないということが起こりかねません。インタビューシートも面接も、『じっくり考え、自分の言葉で』準備することが大切です。

なお、群馬県公立高校では、2回の志願先変更が認められています。志願する高校を変更する際にも、当然インタビューシートが必要になります。高校ごとに質問内容が違いますから、受検校を迷っている人は必ずそれぞれの高校のインタビューシートを作成してください。急に受検校を変更したいと思っても、インタビューシートがなければ受検することはできないので注意してください。



【インタビューシートの下書き】

◎何をどう書いたらよいか？

【1 学校・学科を志願する理由】

1つか2つに絞り、具体的な自分ならではのエピソードや、志望校にしかない特色を入れるとよい。

【2 これまでの3年間を振り返って、頑張ったことや成長したと思うこと】

生徒会活動や学級活動、部活動など、中学校時代がんばってきた活動について書く。部活動などの実績は、以前に確認した「調査書表彰等確認」と相違がないように書く。

【3 志願する学校が設定した質問への回答】

書く高校と書かない高校があります。9日に一覧を配布しますが、自分で調べて確認しておきましょう。クラスルーム「R6 進路」の「各学校の選抜方法等」という資料に載っています。

◎書き方のポイント

- ・体験やエピソードは具体的に書く。
- ・高校入学後の生活や将来に結びつけて書く。
- ・自分の言葉で入学への熱意や意欲を書く。
- ・最後の文は前向きな姿勢で締めくくる。

◎次のような理由だけでは物足りない！

- ① 大学進学率が良いから
- ② 施設、設備が良いから
- ③ 雰囲気が良いから
- ④ 校風があっているから
- ⑤ 先生や生徒が優しかったから
- ⑥ 見学に行ったら良かったから
- ⑦ 理数(英)が好きだから
- ⑧ 機械(電気)に興味があるから

◎次のようなことを付け足せるとよい

- ① 普通高校はどこでも大学進学率が高い。
自分の進路との関わりをはっきりさせる。
- ② 施設、設備の良さが自分の何に良いのか、何に役に立つのか。
- ③ 具体的にどんな雰囲気(「校風」「先生や生徒」「見学」も同じ)が良かったのか。その高校へ行くことで、(その雰囲気や校風などが他の高校よりも)自分の何を伸ばすことに役立つことになるのか。
- ④ 理数(英)、機械(電気)が好き(興味がある)だけでなく、将来の進路や仕事や夢のために、その高校の理数科(英語科)、機械科(電気科)へ行く必要があることをはっきりさせる。(3年間、理数が続くか、工業が続くか、英語科で大丈夫か決意を見る。)

(様式1)

インタビューシート

氏名			受験番号	
志願する学校	高等学校			
志願する 学科等	第1志望		科・類・部	コース
	第2志望		科・類・部	コース

1 学校・学科等を志願する理由

(42文字×4行以内で記入してください)

2 これまでの3年間を振り返って、頑張ったことや成長したと思うこと

(42文字×4行以内で記入してください)

3 志願する学校が設定した質問への回答

質問項目	
------	--

(42文字×8行以内で記入してください)

(注) ・パソコンやタブレット端末などにより作成する。ただし、*の欄は、何もしない。
 ・W500×H700システムによりPDF形式にて送付する。
 ・3の欄は、志願先高等学校の「選抜方法等」において記入を求められた質問項目を記入した上で、面接への回答を記入する。記入を求められていない欄は、空欄のまま送付する。